

すべてのわざには時がある ~ヨヘルトの言葉~

~ 2020 大同窓会・懇親会は中止 ~

九州学院同窓会

発行 九州学院同窓会
 責任者・山崎恒雄
 編集人・小手川勲
 熊本市中央区大江5丁目2-1
 九州学院内
 096-366-4533
<http://www.kyugakudousokai.jp/>
 題字は 紫垣正弘・元同窓会会長

4月17日に予定されていた「2020九州学院大同窓会懇親会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりました。組織運営上、会計関係などの会員の承認の必要性があり「同窓会総会」のみを同日6時から九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにて開催しました。体温計や消毒液を準備しマスク着用で三密を避けての万全を期しての開催となりましたが参加者は予想通り若干名に留まりました。



「難局を乗り越え団結を」

九州学院同窓会 会長 山崎 恒雄



今般新型コロナウイルス感染拡大は、各種の学校行事や、会社・店舗などの運営に至る世間の慣習やしきたりまで一変してしまいました。全国民が初体験の事態は生活の基盤となる経済活動の歯車まで狂わせてしまいました。只々終息を願うばかりです。

話は変わりますが昨年9月15日に、同窓会前参与の小崎義昭先生が87歳の天寿を全うされました。同窓会を熟知し、今日の同窓会の礎を築かれてこられた先生の死は、あまりにも大きく、かけがえのないものを無くした思いです。そして四十九日を終えられ、小崎先生の遺言により奥様によって、九州学院と同窓会に多額の寄付をいただきました。小崎先生のご冥福を心よりお祈りし、生前受けました多くの御恩に衷心より深く感謝申し上げます。

さて、去る4月17日に同窓会総会を九州学院チャペルで行いました。コロナ感染予防の為に、一人ひとり体温チェックとアルコール消毒をして入場して頂き挙行となり、短時間での開催を念頭に、来賓挨拶も省略させていただき、議題に沿ってすべてを承認していただきました。役員改選では、川本副会長の後任に石橋金治先生が副会長に選任されました。小手川先生と共に同窓生への連携に尽力いただきたいと思います。

また、事務局の強化を図るために、村上洋也氏(前九学事務局長)を本年10月より同窓会参与として迎えることも報告され無事終了しました。各支部の皆様方も、この難局を共に乗り越えていきましょう。

令和元年度活動報告、令和二年活動計画、同予算案などが承認されました。今年役員改選の年に当たり、山崎会長の統括とその他の役員が下記の通りになりました。皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

2020年度 九州学院同窓会役員

顧問	松村 敏人(S6回)	土山 研三(S8回)
	内村 公春(前院長)	阿部 英樹(S28回)
相談役	浅川 牧夫(S12回)	岡嶋 勇治(S14回)
	堤 公一(S18回)	緒方 徹(S18回)
会長	山崎 恒雄(S21回)	
副会長	小手川 勲(S24回)	石橋 金治(S25回)
	廣島 秀二(S26回)	三浦 陽二(S28回)
	坂田 和洋(S31回)	橋口 武弘(S35回)
監査役	高野 正晴(S23回)	井手 庸文(S25回)
	木村 昭彦(S28回)	
事務局長	杉本 素一(S39回)	会員委員長 吉永 彰一(S36回)
育英奨学委員長	青山 正志(S30回)	企画委員長 松永 修尚(S34回)
広報委員長(兼務)	小手川 勲(S24回)	

2020同窓会活動計画

- 6月・同窓会新聞発行人
- 7月・奨学金授与式
- 8月・常任幹事会
- 10月・奨学生・給費生を励ます会・常任幹事会
- 10月・高校3年役員に10年会費について依頼
- 11月・常任幹事会
- 「九学通信」に「同窓会だより」を記載・大同窓会実行委員会「2・3・7・8のつく回」※
- 1月・若手の会主催チャペル成人式・実行委員会「2・3・7・8のつく回」
- 2月・「九学通信」に「同窓会だより」を記載・常任幹事会・実行委員会・新卒業生クラブ幹事との懇親昼食会
- 3月・高校卒業式、新卒業生に記念品贈呈
- 高校卒業式に卒業50年と卒業30年の同窓生を学院から招待・中学卒業式、新卒業生に記念品贈呈・実行委員会
- 常任幹事会
- 令和2年度大同窓会が中止となったため、令和3年度大同窓会実行委員会については「2・3・7・8のつく回」に拡大。
- ※正副会長、拡大正副会長、各委員会(会員・育英奨学企画・広報)は、適宜開催の予定
- ※各地域支部の総会には、例年どおり学校の教職員とともに同窓会役員が出席の予定
- ※同窓会主催「震災復興特別募金決起集会」の開催

若手の会
木村新会長挨拶
 令和2年度若手の会会長の木村雄治と申します。若手の会では卒業生の成人式を学院のチャペルで行っています。今年の成人式は開催できませんでしたが、その後は新型コロナウイルスの影響で行事や大会が中止となり残念です。「コロナが早く終息して来年の成人式を開催できることを願います。宜しくお願い致します。」

本年2月14日(金)に、大阪市内に於いて役員会を開催し、6月27日(土)に関西九学会総会を開催することを決定し、その準備にかかろうとした矢先に、コロナウイルスの蔓延により開催を中止(延期)する事となりました。中止(延期)を決定したのは、ギリギリまで悩んだ4月中旬頃でした。来賓の方々や会員の皆様の健康を保障することが出来ない状況では、開催出来ないことと判断いたしました。

北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を
 松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が家族会で活動中。

新型コロナウイルスの影響により、世界中で困難な状況が続いています。報道では教育現場での腐心が伝えられており、卒業生としては母校の現況が気になるどころです。事態の収束には、一人ひとりの自覚をもった行動が何より大事と言われていると思います。自分を自分で監督する。この校訓をせひ生かしたいものです。

さて、本年7月に予定していた東京九学会の総会も世情に準じ、中止を余儀なくされました。上京したての新卒者を皆で激励するという、良い機会でもありませんでしたので、やむを得ぬこととは言え、とても残念です。来年は、新卒者は勿論のこと、参加者全員が共に励まし合えるような、明るく盛大な会にしたいと考えています。

東京の総会には毎年必ずおいで下さった小崎義昭先生が昨年9月にお亡くなりになりました。先生はいかなる時も優しく、そして親身に接して下さいました。お会いできなくなるとは寂しい限りです。長きにわたるご指導、本当にありがとうございます。感謝の意をお伝えしますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

最後に、九州学院、九州学院同窓会の更なる発展と、みなさまの健康、ご繁栄を祈念致します。

この機会に同窓会の在り方に目を向け、活動の幅を広げながら若手会員の増加に力を入れていきたいと思っております。

新型コロナウイルスの影響により、世界中で困難な状況が続いています。報道では教育現場での腐心が伝えられており、卒業生としては母校の現況が気になるどころです。事態の収束には、一人ひとりの自覚をもった行動が何より大事と言われていると思います。自分を自分で監督する。この校訓をせひ生かしたいものです。

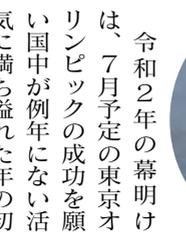
さて、本年7月に予定していた東京九学会の総会も世情に準じ、中止を余儀なくされました。上京したての新卒者を皆で激励するという、良い機会でもありませんでしたので、やむを得ぬこととは言え、とても残念です。来年は、新卒者は勿論のこと、参加者全員が共に励まし合えるような、明るく盛大な会にしたいと考えています。

関西九学会も他団体と同じく高齢化し、私長の任期も過ぎており、次期会長に引き継ぐべく、諸問題の解決を図っております。今後ともこれまで通り当会へのご理解とご協力をお願いいたします。

めとなり、その状況は「新型コロナウイルス」といふ魔物の出現により一変し、世界中が恐怖の渦に巻き込まれて未だ感染の拡大現象が続いています。このような社会生活が危機的状況の中で私たち福岡同窓会は、毎年3・4回の懇親会とゴルフ会の開催について今後の状況変化を見ながら実施していく考えです。



関西九学会
 会長 原田 敬策(S28回)



福岡九学会
 会長 野々口 稔(S26回)

直面する新型コロナウイルスに負けぬ「九学健児魂と敬愛人の精神」で活力ある福岡同窓会として頑張っております。

特別寄稿

医療スタッフの方々に心から感謝

～自責の念とウイルスとの恐怖の日々～

ゴリけん (町田健一郎) (S44回)

この度は新型コロナ感染の診断を受け、同窓会・学校関係者の皆様にも多大なるご心配をおかけしました。おかげ様で4月末に退院して1か月の経過観察も終えて無事に仕事復帰する事ができました。たくさんの励ましの言葉をいただき、感謝してもしきれません。



今回は自分の体験した事で皆さんの参考になればという事で書かせてもらいます。

4月上旬に微熱がありなかなか下がらなかったのかかりつけの病院の案内でPCR検査を受けて陽性が発覚しました。分かった時はもう頭が真っ白で家族やスタッフなど他の人にうつしてしまっていたらどうしようという気持ちでいっぱいでした。

僕は新型コロナウイルスによる軽症の肺炎という診察でしたが咳などはなく熱がダラッと続くという感じでした。一番つらかったのはメンタル。かかって迷惑をかけてしまったという自責の念と得体の知れないこのウイルスに対する恐怖でした。眠れぬ日々が続く安定剤を処方してもらいました。

治療法は基本的に朝、昼、夜、体温を測り血液検査、レントゲン、血中酸素の数値の経過を観察しながらの治療。薬は解熱剤手足のむくみをとる漢方とマラリアとかサースに効くとされているプラニケルという薬を処方してもらい10日間服用しました。

全く人と触れ合えない隔離病棟生活の中励ましてくれたのが対応して頂いた医療スタッフの皆さんでした。リスクの高い現場で忙しい中僕ら患者1人1人に明るく接してくれました。本当に感謝しかできません。

僕は今回たまたま軽症でしたがまだまだ重症な患者さんはいらっしゃいます。軽症の僕でも二週間入院本当になめたら怖いウイルスだと思えます。僕が言うのはおこがましいですがこんな体験なくていいようにとにかく広げない事、軽症でも自力でなんとかしようと思えば具合が悪かったら手をあげる勇気も大切だと感じました。

今年3月に静岡県日本競輪選手養成所(旧日本競輪学校)を卒業した九学出身男子3人と女子2人の計5人がこのほどプロ競輪選手としてデビューしました。

九学卒業男女5人がプロ競輪選手デビュー

今年3月に静岡県日本競輪選手養成所(旧日本競輪学校)を卒業した九学出身男子3人と女子2人の計5人がこのほどプロ競輪選手としてデビューしました。...



(①伊藤・緒方・松本 ②西島・尾方の各選手)

これら3選手に伊藤、緒方、松本、西島、尾方の各選手が、院長室で行われた贈呈式で長岡立一、阿部英樹、宮崎氏が趣味的な作品を完成させ、細部にわたる...



精巧に作られており、内部の照明を点灯すると美しく輝きます。「母校のシンボルで、同窓生の心の支えでもあり九学チャペルの模型を作るのが夢でした。創立110周年のお祝いとして贈り九学学院のさらなる発展を祈りたいと思います」(宮崎氏談)



毎年高校の卒業証書授与式には、卒業後50年と30年の同窓生が学院から招かれて式に参列しています。...

2月25日、1号館会議室において九州学院同窓会主催による「新卒業生クラス代表と同窓会役員懇親会」を行いました。...

卒業50年・30年の参列招待も中止

卒業証書授与式には、卒業後50年と30年の同窓生が学院から招かれて式に参列しています。...



卒業記念品を同窓会から贈呈

同窓会では長年にわたり毎年卒業生に対してお祝いの記念品を贈呈しています。...

新卒代表・同窓会役員 恒例の懇親会を開催

2月25日、1号館会議室において九州学院同窓会主催による「新卒業生クラス代表と同窓会役員懇親会」を行いました。...



角川映画プロデューサー 水上繁雄氏(S40回)

シリーズ 羽ばたく同窓生

描いていこうと決めました。大自然の驚異や人間の慢心。...



欧州でのプロのバレエ活動を開始

レエの指導者として新たなスタートをします。1歳からバレエを始め、4歳から熊本のユリコバレエスタジオで学び、九学高1年生の時に渡欧。...



ヨーロッパでプロのバレエ活動を開始

ヨーロッパでプロのバレリーナとして長年活躍してきた上原絵美さんがこのほど引退しました。...

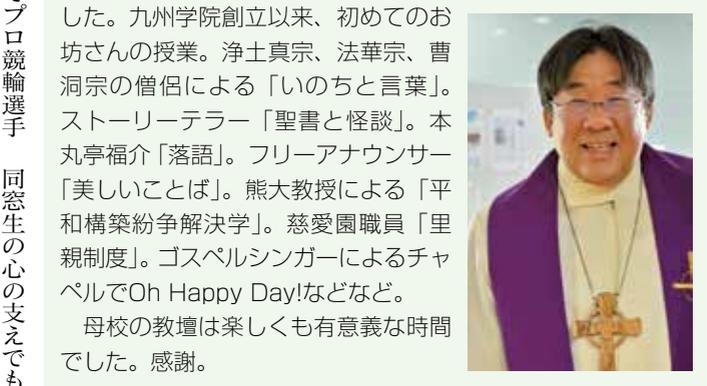
母校九州学院の教壇に立つ

日本福音ルーテル広島教会 牧師 立野 泰博(S31回)

まさか九州学院教会(現ブラウンチャペル)から始まった大江教会の牧師になり、さらに母校から招かれ聖書科の教師として教壇に立つことになるとは。夢のようでした。

教会では恩師の葬儀がありました。齋藤(堅)院長をはじめ、谷口(恭)先生、淵田先生、松永先生、桂先生、椎名先生。また諸先輩方。神様からいただいた恵みでした。...

聖書科の授業では九学で初めて見る女子生徒に緊張しました。卒業生の牧師として、生徒たちに聖書の素晴らしさ、生きる糧としてのみ言葉を伝えるため、様々な工夫をしました。...



母校の教壇は楽しくも有意義な時間でした。感謝。

3月23日に無観客試合で実施された同窓成所の卒業記念レース(予選・決勝)において、女子決勝ではなんと尾方真生選手(S70回)が優勝、西島叶子選手(S65回)も準優勝と上位を独占する快挙を成し遂げました。...

ステンドグラスの九学チャペルの立体模型を寄贈

6月9日、宮崎英二氏(S18回)が、自作のステンドグラス製の「九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルの立体模型」を学院に寄贈され、院長室で行われた贈呈式で長岡立一、阿部英樹、宮崎氏が趣味的な作品を完成させ、細部にわたる...

同窓生の心の支えでもある九学チャペルの模型を作るのが夢でした。創立110周年のお祝いとして贈り九学学院のさらなる発展を祈りたいと思います」(宮崎氏談)